

ILC 国際リニアコライダー — どうなる？誘致のゆくえ —

実現すれば素粒子物理学の最先端研究施設となるかもしれないILC（国際リニアコライダー）について、誘致のゆくえは今後どうなるのでしょうか？本記事ではそんな気になるILCの最近の動向をお伝えします。

まず、誘致における最大の鍵となっていた日本政府の誘致への意思表明ですが、実はいまだになされていないのが現状です。しかし、昨年3月に開催された国際研究者組織の会議において、誘致への表明には至らないものの、初めて日本政府が関心を表明しました。これを大きな一歩と捉え、関係する各団体では誘致に向けた更なる推進を図っています。

その後、7月には岩手県が誘致実現に向けた地域づくりの方向性をまとめた「ILCによる地域振興ビジョン」を策定し、10月には仙台市内にてILCに関する研究者組織の国際会議が開催されました。

写真：超伝導加速空洞の一部
ILC本体建設費は最大5830億円とも言われています。パーツひとつで1000万円かかるものも！

今後のポイントは、次の2点

- ▶ 令和2年2月に策定予定の日本学術会議マスタープランにILC計画が盛り込まれるか。
- ▶ 令和2年5月に策定予定の欧州素粒子物理戦略にILC計画が盛り込まれるか。

私たちの暮らしの中には様々な科学技術が溢れています。ILCによってまた新たな技術が生み出されるかもしれません。未来の暮らしを想像しながら、今後の動向に注目してみたいかがでしょうか。

空き家バンク制度をご活用ください！



町は、空き家バンクによる利活用可能な空き家の流通促進に取り組んでいます。空き家を所有している方は、ぜひ登録をご検討ください。

☎ 総合政策課（内線 2314）

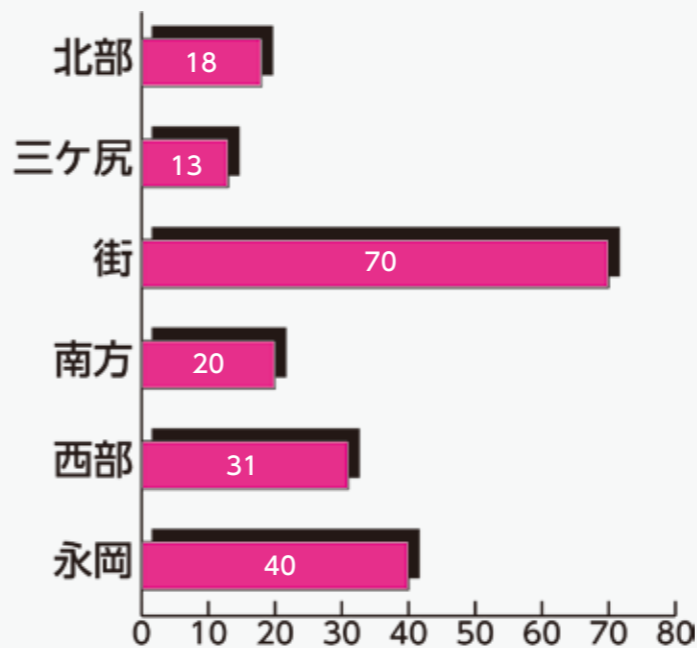
空き家になる前に

— 今できること —

町内の空き家の現状

町が実施した空き家調査では、2015（平成27）年度で町内に192件の空き家が存在していることを確認しました。地区別にみると街地区で70件と最も多く、次いで永岡地区、西部地区の順で多くなっています。この調査以降、全町的な調査は実施していませんが、人口が減少しているにもかかわらず、世帯数が増加している傾向から、年々空き家の数は増加していることが予想されます。

▶ 生活圏ごとの空き家件数（単位：件）



空き家になると…

直近の国勢調査(平成27年)では、町内において65歳以上の人のみの世帯は840世帯あります。そのうち65歳以上の単身世帯は415世帯あり、これらの世帯が所有する住宅については、その居住者が亡くなったたり、転居したりした場合、空き家になる可能性が高いと考えられます。今後、親族などで活用される見込みがなければ、その住居は売却するか、取り壊しをする必要があります。しかし、人口減少が進む現在、利便性の

高い場所の不動産であれば、売却の見込みは立ちますが、そうではない場合、なかなか買い手が現れない現状があります。また、取り壊しをする場合でも費用の問題や取り壊し後の土地の固定資産税額が上がるなどにより、積極的に取り壊しが行われていません。

日常的に管理ができなくなると、家屋の劣化が進みやすく、数年間放置されれば敷地の草木が繁茂し、近隣住民の迷惑にもなりかねません。また、管理不全の空き家周辺では不法投棄を招きやすく、家屋内に蜂の巣ができたたり小動物が侵入したりするなど、周辺の生活環境に与える影響が大きくなります。さらに、家屋の劣化が進むれば、強風により屋根が飛散するなどして、大きな事故にもなりかねません。

空き家になる前に

所有する不動産の管理は、その所有者が行うことが原則です。現在、不動産を所有している人は、相続する人がいるのか、相続された後、土地・家屋はどうするのか、親族

で話し合っておくことが必要です。また、今後、相続する見込みのある人は、自分が相続したら管理ができるのか、解体できるのか、その費用はどうするのかなどを考え、相続が発生する前の段階から行動していかなければなりません。

確認してみよう！

不動産の所有者が亡くなったあと、土地や家屋の所有権を変更する相続登記を行っているでしょうか。「相続登記は行っていないけど、固定資産税も払っているし、特に問題ない」と思っているかもしれません。現状では特に問題になることはないかもしれませんが、しかし、相続登記をせずにいると、次にその不動産の所有者が亡くなった場合、相続にかかわる人数が増え、相続登記の手続きがより複雑になります。いざ不動産を売買できる機会があったとしても、手続きに時間がかかるなど、売買の支障にもなりかねません。相続が発生してから間もないうちに相続登記を行っておくことが重要です。

金ヶ崎中学校 スポーツ・文化活動で躍進

金ヶ崎中学校生徒は12月16日、岩手県中学校総合体育大会新人大会の成績や文化活動での表彰を報告するため役場を訪れました。新人大会では7種目で県大会に出場し、多くの生徒たちが力を発揮し、優秀な成績を納めました。



役場を訪れた金ヶ崎中学校生徒の皆さん

新人大会結果→



文化活動表彰 ▶ 第65回青少年読書感想文岩手県コンクール岩手県読書推進運動協議会会長賞 **朝倉花香**さん（3年）
▶ 岩手県小・中学校新聞コンクール優秀賞 **1年4組**